

伊藤ひろし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

伊藤議員 習志野市と千葉市にまたがる花見川第二終末処理場は、13市町の汚水を広域的に集める処理場であり、一日平均約16万立方メートルの汚水を処理する、都市機能を支える重要な

なインフラ施設だ。しかし、第二終末処理場は液状化しやすい埋立地域に立地しており、稼働30年を超え、老朽化が大変心配される。

つとめて起こることもおかしくない。特に災害時には停電が長時間にわたり発生することがあり、下水道の機能停止が都市全体の機能不全を招く恐れもある。そこでかがうが、花見

2月県議会一般質問



登壇し、一般質問を行う伊藤寛県議

大地震の襲来に備えたインフラ整備を呼びかけている伊藤寛県議(習志野市選出、2期)は、2月定例県議会で登壇、習志野市など13市町の下水を処理する花見川第二終末処理場の耐震化にどのように取り組んでいるのかと質問しました。また、県が取り組んでいる都市計画道路東習志野実籾線工事の進捗状況について尋ね、令和11年度の4車線化開通に向けて着実に事業を進めるよう要望しました。伊藤県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

花見川第二終末処理場 大地震に備え耐震工事

川第二終末処理場の耐震化について、どのように取り組んでいるのか。

都市整備局長 当該処理場では、震災時でも汚水処理を継続できるようにポンプ棟や沈殿池などの6施設に加え、処理水を流す管理放流管の耐震化を優先的に実施しており、このうち沈砂池棟などの2施設の耐震化が完了したところです。

残る4施設について、本年度末までに場内中継

重要な磯辺幹線耐震化

再質問 伊藤議員 処理場の耐震化や停電対策が今現在、十分でない中では、磯辺幹線の活用が防災上、重要ではないだろうか。磯辺幹線の耐震化も進めていくべきと思うがどうか。

都市整備局長 磯辺幹線については、浜田川と花見川を横断する2つの水管橋の耐震工事が必要であり、このうち浜田川水管橋部については、令和5年度に上部工の耐震化が完了し、下

ポンプ場など2施設の耐震補強工事に着手する予定であり、流入渠などの2施設については、工法等の検討を行っているところです。

自家発電稼働時間延長へ

燃料タンクを増設

伊藤議員 花見川第二終末処理場の停電対策について、どのように取り組んでいるのか。

都市整備局長 県では、停電時でも汚水処理を継続できるように全ての流域下水道の終末処理場において非常用自家発電設備を設置しております。

また、近年、自然災害が激甚化、頻発化しており、

では、令和4年度から5年度にかけて管渠部、人孔部の耐震性を確認したところ、補強工事が必要となつたことから、今後、実施に向けた検討を行ってまいります。

望 伊藤議員 予算上の制約もあり、花見川と花見川第二の2つの終末処理場の災害対策については、まだ時間がかかるものと認識している。

だからこそ、いざという時のリスク管理を一層高めるためにも磯辺幹線の耐震化

●県政や習志野市のまちづくりに関するご相談はお気軽にどうぞ

伊藤ひろし 県議事務所

〒275-0021 習志野市袖ヶ浦2-4-1-102 TEL.047(454)8358

伊藤ひろし県議プロフィール

略歴

- 1975年 富山県に生まれる
- 1994年 東海大学付属望洋高校卒
- 1998年 東海大学政治経済学部卒 薬品販売業に従事
- 2004年 松下政経塾の地域政経塾卒
- 2007年 習志野市議会議員当選(3期)
- 2019年 千葉県議会議員当選(2期)

現職

- 県議会 健康福祉常任委員会委員

資格

- 中学・高校教員免許、防災士

タンクの容量や設置場所などの検討を行っているところであり、引き続き、停電対策を進めてまいります。

都市計画道路東習志野実籾線工事

京成と立体交差 4車線化工事へ

南北地域結ぶ幹線道路に

伊藤議員 現在、県が事業を実施している都市計画道路東習志野実籾線は、幕張新都心から京葉道路武石インターチェンジを通り、千葉市と習志野市及び八千代市の内陸部を結ぶ道路計画で、南北方向を結ぶ重要な幹線道路の一部になっている。

本道路の開通は、救急医療機関への緊急車両や、物流倉庫への大型車両などの円滑な搬送・通行に大きく貢献し、千葉県の救急救命活動や経済活動の活性化につながる県内でも重要な幹線道路と認識している。このため、早期開通により、地域防災の強化につながる千葉県県の命の動脈路線だと考

そこだろうかすが、都市計画道路東習志野実籾線の進捗状況はどうか。

県土整備部長 東習志野実籾線は、京成本線との踏切による渋滞の解消を図るため、約0.6キロメートルで、4車線の立体交差事業を進めており、これまでに暫

定2車線で供用しています。現在、用地の取得率は約9割であり、鉄道交差部における函渠工事の着手に向け、今年度は、施工機械や資機

材の搬出入などに必要となる立坑の設置を行っているところです。引き続き、地元の皆様との御理解と御協力をいただきながら、残る用地の取得に努めるとともに、京成電鉄と連携し、事業を推進してまいります。



県執行部の答弁に対し、再質問を行う伊藤県議

要望 伊藤議員 東習志野実籾線の令和11年度の4車線化開通に向けて引き続き、残る用地の取得

に努めていただくよう要望する。また、慢性的な交通渋滞が発生している長作交差点

を含め、南側の1・3キロメートル区間において、用地の取得を進め、1日も早い完成形での整備を要望する。

新型インフルエンザ対策 県の行動計画を改定

伊藤議員 千葉県新型インフルエンザ等対策行動計画について、本県の特性を踏まえた改定が必要と考えるかどうか。特に個人防護具についてはどうか。

伊藤議員 千葉県新型インフルエンザ等対策行動計画に関する御質問ですが、改定に当たっては、感染拡大の起点となり得る成田国際空港や大規模集客施設が立地していることなどの本県の特性を踏まえ、これら施設等と連携した対応について特に記載を充実させるほか、将来

の感染症危機時に新型コロナウイルスでの対応経路を活かせるよう、新型コロナウイルスの振り返りや情報の公表に関する留意事項等も盛り込むこととしています。さらに、マスク等の個人防護具については、感染症対応を担う協定締結医療機

要望 伊藤議員 個人防護具の不足により、医療・検査等が滞ることのないようしっかりと取り組んでいただくとともに、期限切れの備蓄品の廃棄量の削減に資する有効活用にもしっかりと取り組んでいただきたい。

県職員の忌引休暇 分割取得を検討

伊藤議員 連続する期間の範囲内での取得を要件とする忌引休暇について、分割取得が可能となるよう見直しを行うべきと考えるかどうか。

伊藤議員 連続する期間の範囲内での取得を要件とする忌引休暇について、分割取得が可能となるよう見直しを行うべきと考えるかどうか。

北船橋・幕張給水場 自家発電設備を増強

伊藤議員 北船橋給水場及び幕張給水場における停電対策の進捗状況はどうか。企業局長 県営水道では、停電時においても安定して

給水できるように、浄水場や給水場等における非常用自家発電機や燃料タンクの増強を進めているところです。このうち、北船橋給水場

には、非常用発電機が設置されているものの、燃料タンクの容量が半日程度であるため、容量を増強する工事を、また、幕張給水場には、

必要な水量を配水できる非常用発電機が無いため、発電機と燃料タンクを設置する工事を進めています。両給水場とも入札不調などにより進捗が遅れています。北船橋給水場では令和7年度、幕張給水場では令和8年度の増強完了を目指し、整備を進めてまいります。

要望 伊藤議員 北船橋給水場及び幕張給水場

場については、入札不調で停電対策が遅れが生じているとの答弁をいただきましたが、この2つの給水場は、習志野市民や市内中核病院のみならず、千葉市と船橋にある救命救急センターへの給水を担う大変重要な施設であることから、今後も停電対策についてしっかりと取り組んでいただくよう要望いたします。

一方、現在では、葬儀の準備や参列のほか、親族の死亡に伴い必要な手続きなどのためにも取得が可能となっていますが、近年は、死亡

自然環境保育を推進

伊藤議員 県は自然環境保育の推進について、具体的にどのような取り組みを行っているのか。

知事 県では、幼稚園や保育所等において、こどもたちが身近で豊かな自然とのかかわりを通じて心身ともに健やかに育つ環境づくりを応援するため、「千葉県自然環境保育認証制度」を昨年度創設し、これまでに106団体を認証しました。本年度は、制度について広く周知するため、愛称を県民に親しみやすい「ちば・うみやま保育」に決定し、自然環境に知見を有する専門家を自然環境保育普及推進員に委嘱して、認証を検討している団体等に派遣して、具体的な活動への助言を行う事業を開始しました。